



あいち Junior Red Cross 青少年赤十字

令和4年度・5年度 研究委嘱校 名古屋市立稻西小学校

自ら「気づき、考え、実行する」児童の育成

～ICT機器を効果的に活用して、自分の考えを広げたり深めたりする活動を重視して～

共通の理念であることを再確認

学習指導要領 基本理念

生きる力

Zest for living

自ら学び、考え、主体的に判断する能力

青少年赤十字 態度目標

気づき、考え、実行する

自ら

成果:自分事として考える力 (自分ならば…/自分にできることは…)の獲得

資質・能力の育成をめざし、日々の授業で実践を積み重ねる

ICT機器の活用

人と人
思考と思考
知識と経験

つなげることができる

ICT機器の活用

- 協働学習支援 (共有アプリ)
- カメラ機能 (静止画・動画)
- 検索機能 (ウェブ・共有フォルダ)
- ノート (デジタルらしい便利機能)
- 投影機能 (モニタ・スクリーンに)



さて、小学校では令和二年度に始まつた新学習指導要領は、年次進行を経て今年度の高校三年生でもつて完全実施となりました。その新学習指導要領では「学びに向かう力・人間性等の涵養」、「生きる力」、「思考力・判断力・表現力等の育成」の三つの柱を掲げ、主体的・対話的で深い学びを通して「生きる力」を育んでいきます。また「総合的な学習（探究）の時間」では、「自ら課題を見つけ、考え、解決していく力」を養うことをを目指しています。さらに「体験活動」や「道徳教育」の充実も図っています。

青少年赤十字がこれまで長きにわたり培ってきた「気づき、考え、実行する」力の育成、また自主性・自律の精神を養い、主体的に行動できる力を養う様々な指導方法、そして、「健康安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」を柱とする実践活動は、まさに新学習指導要領が唱える「生きる力」を育むことに大いに寄与するものであり、そこに活動の意義があると思います。

青少年赤十字のさまざまな活動を通して、児童生徒の皆さんのが、人間尊重の生き方を学び、世界の平和のために貢献する力をつけるとともに、予測困難な未来を「生きる力」を育んでいくことを切に願っています。

青少年赤十字の活動の意義

青少年赤十字指導者協議会会長



高 井 俊 直
(愛知県立岡崎高等学校長)

日本の青少年赤十字は、前身となる少年赤十字が結成された一九二二年（大正十一年）以来、百余名の歴史を有しています。加盟校の児童生徒は、赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人びとの友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまな活動を行っています。

さて、小学校では令和二年度に始まつた新学習指導要領は、年次進行を経て今年度の高校三年生

でもつて完全実施となりました。その新学習指導要領では「学びに向かう力・人間性等の涵養」、「生きる力」、「思考力・判断力・表現力等の育成」の三つの柱を掲げ、主体的・対話的で深い学びを通して「生きる力」を育んでいきます。また「総合的な学習（探究）の時間」では、「自ら課題を見つけ、考え、解決していく力」を養うことをを目指しています。さらに「体験活動」や「道徳教育」の充実も図っています。

青少年赤十字がこれまで長きにわたり培ってきた「気づき、考え、実行する」力の育成、また自主性・自律の精神を養い、主体的に行動できる力を養う様々な指導方法、そして、「健康安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」を柱とする実践活動は、まさに新学習指導要領が唱える「生きる力」を育むことに大いに寄与するものであり、そこに活動の意義があると思います。

青少年赤十字のさまざまな活動を通して、児童生徒の皆さんのが、人間尊重の生き方を学び、世界の平和のために貢献する力をつけるとともに、予測困難な未来を「生きる力」を育んでいくことを切に願っています。

五月十四日（火）、岡崎地区小中学校指導者協議会総会・研修会が開催され、本年度の役員や活動計画が承認されました。研修会では、日本赤十字社愛知県支部 救護・講習課長 菊池勇人様より「令和6年能登半島地震にかかる日本赤十字社の対応について」と題してご講演いただきました。

今年度の主な活動は次の通りです。

○地区トレセン

七月二十五日、二十六日（木・金）

市内全ての小中学校から各一名の参加で実施します。今年度は小中合同、日帰り日程を2日間行う予定です。

○「トレセン文集」発行

これまで「JRC岡崎だより」として発行していた内容を文集に盛り込むとともに、トレセンに参加した児童生徒の感想や各校に戻つて実践したことをまとめてト

レセン文集として発行します。

○実践報告の作成

地区活動の活性化を図るため、年度末に各校の特色ある活動を冊子にまとめ、今後の活動の参考にします。



HR内での交流の様子

岡崎地区

五月十四日（火）、岡崎地区小中学校指導者協議会総会・研修会が開催され、本年度の役員や活動計画が承認されました。研修会では、日本赤十字社愛知県支部 救護・講習課長 菊池勇人様より「令和6年能登半島地震にかかる日本赤十字社の対応について」と題してご講演いただきました。

今年度の主な活動は次の通りです。

○地区トレセン

七月二十五日、二十六日（木・金）

市内全ての小中学校から各一名の参加で実施します。今年度は小中合同、日帰り日程を2日間行う予定です。

○「トレセン文集」発行

これまで「JRC岡崎だより」として発行していた内容を文集に盛り込むとともに、トレセンに参加した児童生徒の感想や各校に戻つて実践したことをまとめてト

レセン文集として発行します。

○実践報告の作成

地区活動の活性化を図るため、年度末に各校の特色ある活動を冊子にまとめ、今後の活動の参考にします。

各地区の活動状況

刈谷・安城地区



地区トレセンの様子

○刈谷・安城地区トレセン

刈谷・安城地区（知立・高浜・碧南・西尾含む）では、小学校四十一校、中学校二十校、特別支援学校一校の合計六十二校、児童生徒数にすると三万五千六百九十四名が加盟しています。

六月十四日（金）には、刈谷・安城地区青少年赤十字指導者協議会総会を開催しました。

○豊田市社会福祉大会

各加盟校の特色ある活動の写真を展示し、青少年赤十字活動を広く市民に紹介しています。

○お年玉募金活動

昨年度は、能登半島地震が起きたこともあり、三百六十六万四千八百二円の募金を集めることができました。その内、百九十六万六千七百五十四円を



お年玉募金贈呈式

豊田地区

豊田地区は、豊田市とみよし市すべての小中特別支援学校百十七校が加盟しています。各学校は、次の三つの活動を進めています。

○地区トレセン

令和五年度は、八月十七日・十八日に、日本赤十字豊田看護大学において日帰りで二日間開催しました。「気づき、考え、実行する」の姿勢で取り組み、多くの学びを得る研修となりました。令和六年度は、日本赤十字豊田看護大学の学生とコラボする活動も予定しています。



高校メンバー委員会

高校部会

高校部会では、月に一度メンバーメンバー委員会が行われています。

昨年度、役員会や機関誌員会の生徒たちは六月、十一月のメンバーメンバー連絡会に向け、話し合いを重ねました。例えば、一人が「自校の活動を意見交換できる場を提供したい」と言えば、「その時期は一年生も多く来るだろうから工夫が必要だ」などと、様々な立場で多様な意見を出し合いました。連絡会の企画運営を行うことができました。また、十一月に向けて日赤愛知災害管理センター棟を訪問し、学んだことをまとめ発表しました。

他に、毎年夏休みに行われるリダーシップトレーニングセンターでは、ハイゼックスを使った炊き出し体験や、期間中に学んだことを基に各学校へ戻つてボランティア活動を企画するワークショップに力を入れて取り組みました。今年度から会場を移して活動を続けていきます。

名古屋地区

名古屋地区では、令和五年度地区トレセンを八月九日、十日の二日間にわたり実施しました。

一日目は車椅子体験、高齢者疑似体験、妊婦体験等の福祉体験を行いました。

二日目は、防災体験学習（避難所設営体験）を行いました。大規模災害が発生したことを想定し、H.R.ごとに、様々なニーズに対応できる居住スペースの間取りを考え、避難所を設営しました。

前日の福祉体験での気付

きを生かし、

「ここは車椅子

「段ボールベッ

ドの位置は高

齢者が静かに

休めるように

奥にしよう」と

誰もが過ごしやすい間取りを考えること

とができました。最後に、各居住スペースのよさや取り入れたいことを共

有し、トレセンを終えました。

本年度のトレセンは、八月に日赤知災害管理センター棟を会場にして開催します。初めての試みとして、建物内にある免震構造、災害情報センターの見学等も取り入れたいと考えています。

これらの体験を通して「気付き、考えたことを日常生活に取り入れ「実行する」ことができる児童生徒が育つてくれることを願っています。



避難所設営体験の様子

尾張地区

六月十九日（水）に令和六年度尾張地区青少年赤十字加盟校総会並びに校長連絡会を春日公民館にて開催し、本年度の役員や事業計画が承認されました。会では、県支部より日本赤十字社の活動をご紹介いただきました。今年度の主な活動は次の通りです。

○尾張地区トレセン

期日 七月二十九日（月）

三十日（火）

会場 春日井市少年自然の家

加盟校の小学校六年生と中学校二年生の各二名が一泊二日で参加します。

本年度は、小学校三十四校、中学校十三校が参加する予定です。

○発表交歓会並びに指導者研修会

期日 十二月二十四日（火）

会場 名古屋芸術大学アートスクエア

加盟校の児童生徒と指導者が参加します。

本年度は、江南市立草井小学校

と清須市立春日小学校が代表して

活動紹介を発表する予定です。

尾張地区は、現在、幼・保を含めて

一九一校・園が加盟しています。今後

も加盟促進と共に学校生活の様々な場

面で、青少年赤十字の目標である「気

づき、考え、実行する」ことのできる

児童生徒を育む活動を推進していきま



尾張地区総会並びに校長連絡会

知多・海部地区

令和五年度は、知多・海部地区トレセンを六年ぶりに開催しました。児童生徒百四十三名、役員・庶務・スタッフ三十三名、総勢百七十六名が一堂に会し、予定されたすべてのプログラムを滞りなく実施し、有意義な活動を行うことができました。

令和六年度の主な活動です。

二月には、各校の日々の実践を「青少年赤十字活動実践集」にまとめ、東三河の加盟校に配付し、情報交換をするとともに、各校の思いや願いが込められた活動が他校へのよい刺激となることを願っています。

今後も「気づき・考え・実行する」ことのできる児童生徒を育む活動を推進していきます。



知多・海部トレセンの様子

東三河地区



マスコットキャラクターを使って全校にあいさつの充実を呼びかけ

会場 美浜自然の家

○指導者講習会・児童生徒交歓会

期日 十二月二十五日（水）

会場 知多市勤労文化会館

百十校、海部が五十六校、合計百六十六校です。各校それぞれで「気づき・考え・実行する」児童生徒を育成するようさまざまな活動に取り組んでいます。



マスコットキャラクターを使って全校にあいさつの充実を呼びかけ

東三河地区（豊橋・豊川・新城・設楽・田原）では、小学校四十四校、中学校十五校の合計五十九校が加盟しています。それぞれの学校では特色のある活動や地域と連携した実践が日々行われています。児童会・生徒会が中心となつて進めるたてわり活動（異学年間の活動）、あいさつ運動や530運動（清扫活動）等、多種多様な活動が広がっています。また、地域とのかかわりを大切にした活動や、命の大切さを学ぶ講話・防災への意識を高める活動などにも積極的に取り組んでいます。

二月には、各校の日々の実践を「青少年赤十字活動実践集」にまとめ、東三河の加盟校に配付し、情報交換をするとともに、各校の思いや願いが込められた活動が他校へのよい刺激となることを願っています。

今後も「気づき・考え・実行する」ことのできる児童生徒を育む活動を推進していきます。

いろいろな子と
交流できたらいいな
豊橋市立磯辺小学校



5年生と6年生の対決

磯辺小学校では「むくろじ活動」と呼ばれるボランティア活動が盛んに行われています。活動には「レクリエーション活動」「奉仕活動」「ちびっこ先生」があります。

学校行事が縮小されて他学年と関

わる機会が減っているので、他学年との間で「静かに」という言葉を守らない人に対する声のかけ方です。相手に納得してもらえる言葉を考え、実際に声をかけていきます。私は、今まで指示をするような口調で注意していました。しかし、強く言うよりも、より良い行動を提案したり、一緒に考えたりする方が、相手に納得してもらえることがわかりました。早く速学校で、「静かにして」ではなく、「静かにしようね」と声かけを変えてみるといい方を変えただけなのに、いつもとは違う反応が返ってきました。それは、「ありがとう」です。驚いたけれど、語尾を少し変えるだけで、相手の受け取り方が大きく変わることを実感しました。

トレスセンに参加して、リーダーとは「相手の気持ちに寄り添うことができること」だと気付くことができました。この経験を大切にして、これから学校生活に生かしていきたいです。

豊橋市立磯辺小学校 六年 深谷 梨奈

いろいろな子と
交流できたらいいな
豊橋市立磯辺小学校

六年 深谷 梨奈

加して考
レセンに参
考が変わり
ました。



声かけの練習風景

ト

レ

セ

ン

に

参

加

して

考

レ

セン

に

参

文化祭での献血呼びかけを 続けています。

本校では二〇一三年より文化祭（九月）において献血車に来てもらい、献血を行っています。夏休み明けから、献血協力者を募る案内を出し、当日前までに約五十名の献血協力者が集まるように本校の先生や、生徒の保護者にアピールしていきます。文化祭当日は、JRC部員の中学1年生は献血呼びかけ、高校生は友達をつれて献血してもらっています。文化祭当日、生徒たちは忙しくてできなかつたとしても、「献血に協力してください」と呼びかけることによって、献血に対する意識づけがなされます。後日、「献血ルームで献血したよ」と話してくれる高校生三年生もいました。

毎年、六十名以上の協力者がいて血液があつまり、協力してくれた方々への感謝を感じています。この活動を続けるこ

とによって、本校生徒や一般の方々に献血の大切さを知つてもらい、献血してくれる人が増えていくことを願っています。

現在、若い人の献血協力者の数が減っている状況です。このまま若い人の協力者が減少すれば、将来、輸血できず救われない命が出てくるかも知れません。

もしかして自分や家族が病気になると、自分事として考え、これからも献血を呼びかけていき

ます。

名古屋学院 教諭 大藪 博康

文化祭での献血の様子

本校では二〇一三年より文化祭（九月）において献血車に来てもらい、献血を行っています。夏休み明けから、献血協力者を募る案内を出し、当日前までに約五十名の献血協力者が集まるように本校の先生や、生徒の保護者にアピールしていきます。文化祭当日は、JRC部員の中学1年生は献血呼びかけ、高校生は友達をつれて献血してもらっています。文化祭当日、生徒たちは忙しくてできなかつたとしても、「献血に協力してください」と呼びかけることによって、献血に対する意識づけがなされます。後日、「献血ルームで献血したよ」と話してくれる高校生三年生もいました。

毎年、六十名以上の協力者がいて血液があつまり、協力してくれた方々への感謝を感じています。この活動を続けるこ

とによって、本校生徒や一般の方々に献血の大切さを知つてもらい、献血してくれる人が増えていくことを願っています。

現在、若い人の献血協力者の数が減

っている状況です。このまま若い人の

協力者が減少すれば、将来、輸血でき

ず救われない命が出てくるかも知れません。

もしかして自分や家族が病気になると、自分事として考え、これからも献血を呼びかけていき

ます。

名古屋学院 教諭 大藪 博康

文化祭での献血の様子

全国のJRCの仲間たちと 気づき 考え 実行

地域とともに 気づき 考え 実行する

あいさつ運動とJRC

あま市立甚目寺中学校 教諭 中道 秀斗

本校で

は、生徒

会が運営

する委員

会活動の

中に生活

委員会が

あります。

生活委員

会の定期

活動とし

て、朝の

あいさつ運動を行っています。朝、学

校の門や昇降口の前で挨拶をしていま

すが、なかなか声が出せなかつたり、

挨拶を返さなかつたりする生徒もいま

だっています。

また、防災教育プログラムでは、能

登半島地震での支援活動報告をもと

に講義が行われました。今、まさに大

変な思いをされている被災者の方に対

して自分たちに何ができるのかを考え

させられました。

また、防災教育プログラムでは、能

登半島地震での支援活動報告をもと

に講義が行われました。今、まさに大

変な思いをされている被災者の方に対

加盟校だより

北名古屋市立師勝西小学校

本校では、児童会や委員会が中心となり、よりよい学校生活を目指して、児童自身の考えを基に活動しています。

本校は住宅街にあり、児童数に対し運動場が狭く、怪我が発生しやすい状況にあります。そこで今年度は、休み時間の運動場の使い方について、保健委員会やスポーツ委員会、児童会が協力して意見を出し合って考えています。

怪我防止のために学年や使用ス

ペースを分けるのか、運動量確保のた

めにできるだけ多くの児童が使用でき

るようになるのか、どんなルールにし

ていくのかを児童自身で検討していま

す。

自分の意見で物事を進める経験から

「気づき・考え・実行する」態度を育

成できたらと考えています。

(加藤 遊)



委員会での意見交換

（中道 みゆき）

怪我防止のため、学年や使用ス

ペースを分けるのか、運動量確保のた

めにできるだけ多くの児童が使用でき

るようになるのか、どんなルールにし

ていくのかを児童自身で検討していま

す。

（荻野 達成）

怪我防止のために学年や使用ス

ペースを分けるのか、運動量確保のた

めにできるだけ多くの児童が使用でき

るようになるのか、どんなルールにし

ていくのかを児童自身で検討していま

す。

（豊橋市立三ツ池小学校）

本校では、「子ども主体」の活動を大切にしています。

総務委員会では、「みんな楽しく

みんな笑顔

でみんな

元気に」と

いう目標を

たて、特にあいさつ運動に力を入れることにしました。まず、「あいさつはなぜ必要か」全校児童に問い合わせ、あいさつの意義を伝えました。また、あいさつの仕方にレベルを設定し、相手の名前を呼んで目を見て、自分から元気にするあいさつを「レベル Max」としました。そして、学級ごとの「学級あいさつリレー」や児童会役員による「外國語のあいさつ」や「方言あいさつ」の企画を考え、実施しました。

（豊橋市立本郷中学校）

本校では、SDGsを推進したいと

いう生徒の思いから、二年がかりで、

本校として推進する十七の目標を作

成しました。更に、重点的に実施して

いく五つの目標を定めた「HON5S

DGs」を決めました。これをもとに、

各委員会の企画や文化祭の出し物な

ど、さまざまな活動を展開しています。

また、校区を流れる近隣の梅田川、校

区内の公園、通学路での清掃活動を十

年にわたって実施しています。ボラン

ティアを全校生徒から募集し、毎回百

名以上の参加者が集まり、積極的に活

動を行っています。

（岡崎市立六ツ美中部小学校）

本校では、SDGsを推進したいと

いう生徒の思いから、二年がかりで、

本校として推進する十七の目標を作

成しました。更に、重点的に実施して

いく五つの目標を定めた「HON5S

DGs」を決めました。これをもとに、

各委員会の企画や文化祭の出し物な

ど、さまざまな活動を展開しています。

また、校区を流れる近隣の梅田川、校

区内の公園、通学路での清掃活動を十

年にわたって実施しています。ボラン

ティアを全校生徒から募集し、毎回百

名以上の参加者が集まり、積極的に活

動を行っています。

（佐野 和彦）

（岡崎市立六ツ美中部小学校）

本校では、SDGsを推進したいと

いう生徒の思いから、二年がかりで、

本校として推進する十七の目標を作

成しました。更に、重点的に実施して

いく五つの目標を定めた「HON5S

DGs」を決めました。これをもとに、

各委員会の企画や文化祭の出し物な

ど、さまざまな活動を展開しています。

また、校区を流れる近隣の梅田川、校

区内の公園、通学路での清掃活動を十

年にわたって実施しています。ボラン

ティアを全校生徒から募集し、毎回百

名以上の参加者が集まり、積極的に活

動を行っています。

（佐野 和彦）

（岡崎市立六ツ美中部小学校）

本校では、SDGsを推進したいと

いう生徒の思いから、二年がかりで、

本校として推進する十七の目標を作

成しました。更に、重点的に実施して

いく五つの目標を定めた「HON5S

DGs」を決めました。これをもとに、

各委員会の企画や文化祭の出し物な

ど、さまざまな活動を展開しています。

また、校区を流れる近隣の梅田川、校

区内の公園、通学路での清掃活動を十

年にわたって実施しています。ボラン

ティアを全校生徒から募集し、毎回百

名以上の参加者が集まり、積極的に活

動を行っています。

（佐野 和彦）

（岡崎市立六ツ美中部小学校）

本校では、SDGsを推進したいと

いう生徒の思いから、二年がかりで、

本校として推進する十七の目標を作

成しました。更に、重点的に実施して

いく五つの目標を定めた「HON5S

DGs」を決めました。これをもとに、

各委員会の企画や文化祭の出し物な

ど、さまざまな活動を展開しています。

また、校区を流れる近隣の梅田川、校

区内の公園、通学路での清掃活動を十

年にわたって実施しています。ボラン

ティアを全校生徒から募集し、毎回百

名以上の参加者が集まり、積極的に活

動を行っています。

（佐野 和彦）

（岡崎市立六ツ美中部小学校）

本校では、SDGsを推進したいと

いう生徒の思いから、二年がかりで、

本校として推進する十七の目標を作

成しました。更に、重点的に実施して

いく五つの目標を定めた「HON5S

DGs」を決めました。これをもとに、

各委員会の企画や文化祭の出し物な

ど、さまざまな活動を展開しています。

また、校区を流れる近隣の梅田川、校

区内の公園、通学路での清掃活動を十

年にわたって実施しています。ボラン

ティアを全校生徒から募集し、毎回百

名以上の参加者が集まり、積極的に活

動を行っています。

（佐野 和彦）

（岡崎市立六ツ美中部小学校）

本校では、SDGsを推進したいと

いう生徒の思いから、二年がかりで、

本校として推進する十七の目標を作

成しました。更に、重点的に実施して

いく五つの目標を定めた「HON5S

DGs」を決めました。これをもとに、

各委員会の企画や文化祭の出し物な

ど、さまざまな活動を展開しています。

また、校区を流れる近隣の梅田川、校

区内の公園、通学路での清掃活動を十

年にわたって実施しています。ボラン

ティアを全校生徒から募集し、毎回百

名以上の参加者が集まり、積極的に活

動を行っています。

（佐野 和彦）

（岡崎市立六ツ美中部小学校）

本校では、SDGsを推進したいと

いう生徒の思いから、二年がかりで、

本校として推進する十七の目標を作

成しました。更に、重点的に実施して

いく五つの目標を定めた「HON5S

DGs」を決めました。これをもとに、

各委員会の企画や文化祭の出し物な

ど、さまざまな活動を展開しています。

また、校区を流れる近隣の梅田川、校

区内の公園、通学路での清掃活動を十

年にわたって実施しています。ボラン

ティアを全校生徒から募集し、毎回百

名以上の参加者が集まり、積極的に活

動を行っています。

（佐野 和彦）

（岡崎市立六ツ美中部小学校）

本校では、SDGsを推進したいと

いう生徒の思いから、二年がかりで、

本校として推進する十七の目標を作

成しました。更に、重点的に実施して

いく五つの目標を定めた「HON5S

DGs」を決めました。これをもとに、

各委員会の企画や文化祭の出し物な

ど、さまざまな活動を展開しています。

また、校区を流れる近隣の梅田川、校

区内の公園、通学路での清掃活動を十

年にわたって実施しています。ボラン

ティアを全校生徒から募集し、毎回百

名以上の参加者が集まり、積極的に活

動を行っています。

（佐野 和彦）

（岡崎市立六ツ美中部小学校）

本校では、SDGsを推進したいと

いう生徒の思いから、二年がかりで、

本校として推進する十七の目標を作

成しました。更に、重点的に実施して

いく五つの目標を定めた「HON5S

DGs」を決めました。これをもとに、

各委員会の企画や文化祭の出し物な

ど、さまざまな活動を展開しています。

また、校区を流れる近隣の梅田川、校

区内の公園、通学路での清掃活動を十

年にわたって実施しています。ボラン

ティアを全校生徒から募集し、毎回百

名以上の参加者が集まり、積極的に活

動を行っています。

（佐野 和彦）

（岡崎市立六ツ美中部小学校）

本校では、SDGsを推進したいと

いう生徒の思いから、二年がかりで、

本校として推進する十七の目標を作

成しました。更に、重点的に実施して

いく五つの目標を定めた「HON5S

DGs」を決めました。これをもとに、

各委員会の企画や文化祭の出し物な

ど、さまざまな活動を展開しています。

また、校区を流れる近隣の梅田川、校

区内の公園、通学路での清掃活動を十

年にわたって実施しています。ボラン

ティアを全校生徒から募集し、毎回百

名以上の参加者が集まり、積極的に活

動を行っています。

（佐野 和彦）

（岡崎市立六ツ美中部小学校）

本校では、SDGsを推進したいと

いう生徒の思いから、二年がかりで、

本校として推進する十七の目標を作

成しました。更に、重点的に実施して

いく五つの目標を定めた「HON5S

DGs」を決めました。これをもとに、

各委員会の企画や文化祭の出し物な

ど、さまざまな活動を展開しています。

また、校区を流れる近隣の梅田川、校

区内の公園、通学路での清掃活動を十

年にわたって実施しています。ボラン

ティアを全校生徒から募集し、毎回百

名以上の参加者が集まり、積極的に活

動を行っています。

（佐野 和彦）

（岡崎市立六ツ美中部小学校）

本校では、SDGsを推進したいと

いう生徒の思いから、二年がかりで、

本校として推進する十七の目標を作

成しました。更に、重点的に実施して

いく五つの目標を定めた「HON5S

DGs」を決めました。これをもとに、

各委員会の企画や文化祭の出し物な

ど、さまざまな活動を展開しています。

また、校区を流れる近隣の梅田川、校

区内の公園、通学路での清掃活動を十

年にわたって実施しています。ボラン

ティアを全校生徒から募集し、毎回百

名以上の参加者が集まり、積極的に活

動を行っています。

（佐野 和彦）

（岡崎市立六ツ美中部小学校）

本校では、SDGsを推進したいと

いう生徒の思いから、二年がかりで、

本校として推進する十七の目標を作

成しました。更に、重点的に実施して

いく五つの目標を定めた「HON5S

DGs」を決めました。これをもとに、

各委員会の企画や文化祭の出し物な

ど、さまざまな活動を展開しています。

また、校区を流れる近隣の梅田川、校

区内の公園、通学路での清掃活動を十

年にわたって実施しています。ボラン

ティアを全校生徒から募集し、毎回百

名以上の参加者が集まり、積極的に活

動を行っています。

（佐野 和彦）

（岡崎市立六ツ美中部小学校）

本校では、SDGsを推進したいと

刈谷市立雁が音中学校

その想いに共感した生徒会役員会は、手作りの募金箱を持ち、毎朝昇降口に立つことにしました。「募金活動やっています。」「ありがとうございます。」「明日もありますので、お願ひします。」すると、家族全員を代表して募金をしたり、同い年の受験生を気遣う手紙を添え、今年もらつたお年玉を募金したりする生徒たちがいました。一人の生徒の想いから始まつた募金活動は、四十名を超える有志に囲まれて幕を閉じました。

「雁中にはこれほど多くの優しい心の持ち主がいたつてことですね。」と語る発案者の表情は晴れやかでした。

徒会のみなさん 能登半島地震について、連日ニュースが流れています。コンビニなどに募金箱が置いてあります
が、私たちはそこまでコンビニには行きません。だから、募金をしたい人が
その想いを形にできるように学校で募
金活動をしたいんです。」

A group of approximately 30 students in blue uniforms are gathered outdoors on a grassy field. They are holding a long white banner with the text '能登半島地震義援金募金' (Noto Peninsula Earthquake Relief Fundraising) printed on it. The students are smiling and some are making peace signs or holding small flags. In the background, there are trees and a building, suggesting a school setting.

募金活動に集まつた有志

豊田市立稻武小学校

本校は小規模校のため、より多くの子と関わることができるように、異学年交流に力を入れています。「なかよし班」という縦割り班で掃除を行ったり、六年生が中心となって計画をする「なかよし班遊び」を行ったり、今月の歌を発表する音楽集会や、合同授業を行っています。

五年生は、林間学校のキャンプファイヤーで行うゲームを一年生と楽しもうと、交流会を計画しました。「猛獣狩り」では、一年生がペアを作ることができるように五年生が声をかけたり、「マイムマイム」では、複雑な足のステップを一年生ができるように、ゆづくり教えたりする姿がありました。一年生は五年生の話を真剣に聞いて、楽しもうとしていました。一年生全員が笑顔いっぱいの交流会にすることができました。

(西野
萌花)



マイムマイムを楽しむ児童

活動の協力を得るなどのアイデアを出し合いました。さらに、コロナ禍前に日は職員の皆さんと交流しながら、清掃活動を行うことができました。

現在行っている活動は、これ以外に募金の呼びかけやボランティアへの参加にとどまっています。今後は夏休みに行われるLTCへの参加を通して、現在の活動をより活発にし、より多くの生徒が参加できるよう、生徒会執行部を中心に取り組んでいきたいと考えています。

る程度でとどまっていました。しかし、夏休みにリーダーシップトレーニングセンター（LTC）へ参加した生徒が発起人となり、より多くの生徒が参加できるよう、募集の仕方を工夫し、部

A group of students are gathered on a paved area near a grassy field and a fence. They are wearing winter clothing and are focused on a task on the ground. One student in the foreground is kneeling, while others are crouching or sitting nearby. The scene suggests a community service or environmental activity.

愛知県立瀬戸西高等学校

名古屋地区のトレセンで体験したことを学校中の生徒に広めたいです。トレセンに参加し、福祉体験をした生徒四名が、JRC部顧問間に提案に来ました。

そこで、その四名が企画者となつてJRC部内で福祉体験をする機会を設けました。そして、JRC部でこの体験を全校生徒向けに企画するかを

準備期間二か月。体験方法や説明文をより分かりやすく工夫し、参加者が「参加してよかったです」と感じられるよう試行錯誤しました。その中で部員たちは、「気づき」「考え」「実行する」というJRCの態度目標を常に意識して活動しました。

体験会当日は、百五十名もの生徒が参加し、企画は無事終了しました。福祉体験を企画運営できたことはもちろんのこと、それを実現するためにと思

ちのすばらしい姿が見られました。顧問として、この姿を後輩部員たちに伝え、継承していく努力をしたいと思います。(笛野祐加)

A person in a dark jacket and light pants is bending over, holding a small object in their hands. The background shows a gymnasium with wooden doors and a basketball court.

福祉体験をする生徒たち

名古屋市立新郊中学校

支部通信

四月二十三日「ウィルあいち」で、令和六年度愛知県青少年赤十字指導者協議会役員会・総会・研究推進校実践発表会が開かれました。

総会では、議事に先立つて表彰式が行われ、五十八名の先生方と百四十一の学校と園が表彰されました。

総会に引き続いて、令和四・五年度の研究推進校であった「名古屋市立稲西小学校」と「豊橋市立汐田小学校」が実践発表を行いました。

日本赤十字社愛知県支部では、青少年赤十字活動のさらなる充実・推進と未加盟校への活動普及を目的に、研究推進校を設置しています。研究は二か年の委嘱期間で実施され、研究成果の発表を行います。参加された先生方は、両校の充実した研究実践に熱心に聞き入ってみました。両校の研究要項を全加盟校に配付させていただきました。



令和六年度主な事業計画

- * 役員会・総会・実践発表会 4月23日 (会場 ウィルあいち)
- * 第一回トレセン検討会 5月17日 (会場 愛知県支部)
- * 高校指導者研究会・メンバー連絡会 6月1日 (会場 愛知県支部)
- * 高校トレセン 7月15日・27日・28日 (会場 愛知県支部)

| | |
|---------------|------------------|
| 発行者 | 令和六年七月一日 |
| 事務局 | 愛知県青少年赤十字指導者協議会 |
| | 日本赤十字社愛知県支部 |
| | 〒四六一-一八五六一 |
| 名古屋市東区白壁一-五五〇 | TEL ○五二一九七一一五九九〇 |
| | FAX ○五一九七一一五九〇 |

加盟状況

(令和六年三月三十一日現在)

| | |
|-----------|----------|
| ○ 幼稚園・保育園 | 五十六園 |
| ○ 小学校 | 六百三十六校 |
| ○ 中学校 | 二百六十八校 |
| ○ 高等学校 | 百十八校 |
| ○ 特別支援学校 | 十四校 |
| (加盟校合計) | 一、〇九二校・園 |
| （メンバー総数） | 四二九、〇三二名 |

- * 第二回トレセン検討会 9月6日 (会場 愛知県美浜自然の家)
- * 救急法講習会 8月9日・26日 (会場 愛知県美浜自然の家)
- * 指導者講習会 8月21日～22日 (会場 愛知県支部)

(会場 愛知県美浜自然の家ほか)
8月7日～8日
(会場 愛知県美浜自然の家)